



令和6年3月1日
道路局高速道路課

高速道路の暫定2車線区間の4車線化について

高速道路の暫定2車線区間については、令和元年9月に課題の大きい区間を優先整備区間(約880km)として選定し、4車線化を順次事業化しております。

昨年5月に成立した「道路整備特別措置法及び独立行政法人日本高速道路・債務返済機構法の一部を改正する法律」による料金徴収期間の延長によって、得られる財源を活用しつつ、4車線化を実施することとしました。

今般、来年度に新たに着手する4車線化の候補箇所として災害、渋滞、事故発生箇所などを総合的に勘案し、計11箇所約57キロメートルを選定しましたので、お知らせします。

また、4車線化の準備調査候補箇所として、今後、事業実施環境を整えるため、調査に着手する計5箇所約30キロメートルを選定しましたので、お知らせします。

今後、事業許可に向けて、必要な手続きを行ってまいります。

なお、残る優先整備区間についても、財源の確保状況等を踏まえ、順次整備を進めます。

○添付資料

1. 4車線化候補箇所【別紙1】・準備調査候補箇所【別紙2】
2. 4車線化候補箇所【別紙3】
3. 4車線化準備調査の概要(案)【別紙4】

<問い合わせ先>

道路局 高速道路課 企画専門官 小島 (内線: 38308)

企画専門官 田中 (内線: 38352)

代表: 03-5253-8111 直通: 03-5253-8500

4車線化候補箇所

事業区間名	延長	事業費	都道府県
道東自動車道 おいわけちょう 追分町 IC～ゆうばり 夕張 IC	4.1km	約 250 億円	北海道
秋田自動車道 よこてきた 横手北スマート IC～おおまがり 大曲 IC	7.9km	約 360 億円	秋田県
常磐自動車道 やまもとみなみ 山元南スマート IC～やまもと 山元 IC	5.5km	約 210 億円	宮城県
磐越自動車道 にしあいづ 西会津 IC～つがわ 津川 IC	8.7km	約 660 億円	新潟県
東海北陸自動車道 ひだきよみ 飛驒清見 IC～しらかわごう 白川郷 IC	4.3km	約 300 億円	岐阜県
山陰自動車道 まつえたまつくり 松江玉造 IC～しんじ 宍道 JCT	3.0km	約 180 億円	島根県
徳島自動車道 みま 美馬 IC～よしのがわ 吉野川 SA スマート IC	4.8km	約 260 億円	徳島県
松山自動車道 いよ 伊予 IC～うちこいかざき 内子五十崎 IC	5.3km	約 400 億円	愛媛県
東九州自動車道 (椎田道路) みやこ 豊津 IC～ついき 築城 IC	1.2km	約 70 億円	福岡県
東九州自動車道 すえよしたからべ 末吉財部 IC～こくぶ 国分 IC	7.1km	約 520 億円	鹿児島県
西九州自動車道 (武雄佐世保道路) たけおみなみ 武雄南 IC～はさみありた 波佐見有田 IC	4.6km	約 350 億円	佐賀県 長崎県
合計	56.5km	約 3,560 億円	

準備調査候補箇所

	事業区間名	延長	都道府県
富津館山道路	<small>ふつつたけおか きよなんほた</small> 富津竹岡IC～鋸南保田IC	6.8km	千葉県
東海北陸自動車道	<small>ひだきよみ しらかわごう</small> 飛騨清見IC～白川郷IC	11.9km	岐阜県
舞鶴若狭自動車道	<small>みかたごこ わかさみかた</small> 三方五湖スマートIC～若狭三方IC	1.6km	福井県
東九州自動車道	<small>ゆくはし とよつ</small> 行橋IC～みやこ豊津IC	5.5km	福岡県
東九州自動車道	<small>うすき つくみ</small> 臼杵IC～津久見IC	4.2km	大分県
	合計	30.0km	

4車線化候補箇所

別紙3

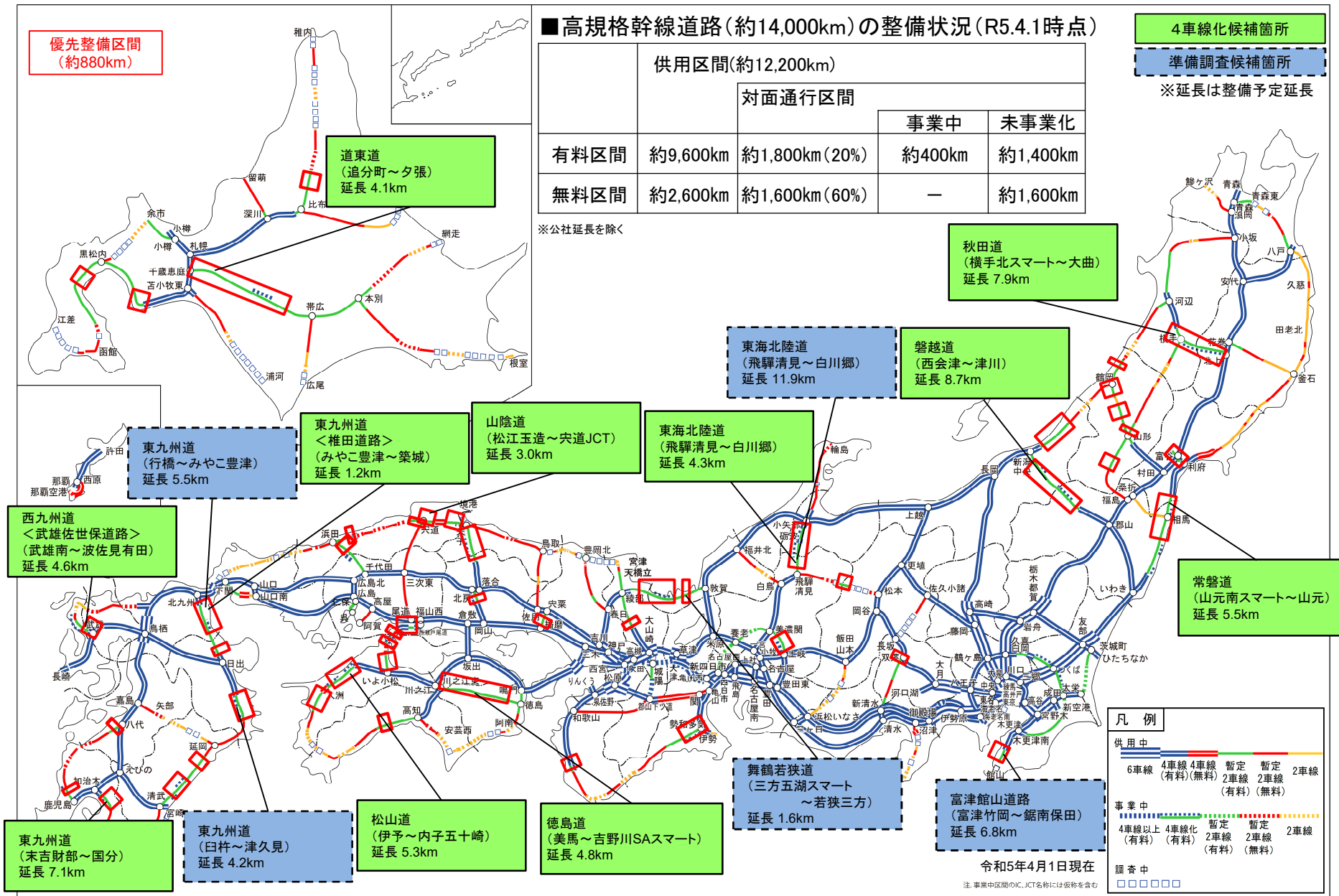
優先整備区間
(約880km)

■高規格幹線道路(約14,000km)の整備状況(R5.4.1時点)

	供用区間(約12,200km)		対面通行区間	
	有料区間	無料区間	事業中	未事業化
有料区間	約9,600km	約2,600km	約400km	約1,400km
無料区間	約1,800km(20%)	約1,600km(60%)	—	約1,600km

※公社延長を除く

4車線化候補箇所
準備調査候補箇所
※延長は整備予定延長



凡例

供用中	事業中	調査中
6車線 (有料)	4車線以上 (有料)	調査中
4車線 (有料)	4車線化 (有料)	4車線以上 (有料)
4車線 (無料)	4車線化 (有料)	4車線 (有料)
暫定 2車線 (有料)	暫定 2車線 (有料)	暫定 2車線 (有料)
暫定 2車線 (無料)	暫定 2車線 (無料)	暫定 2車線 (無料)
2車線	2車線	2車線

令和5年4月1日現在
注: 事業中区間/IC, JCT名称には仮称を含む

4車線化準備調査の概要(案)

別紙4

<課題>

4車線化の事業化に際しては、I期線での実績をもとに検討を行っているが、現地状況による工法の再検討等や関係機関との調整による都市計画変更手続きの実施のため、工事着手まで長期化する事例が存在。

<目的>

交通上の課題が大きく4車線化が必要な箇所のうち、工事に着手する環境が整っていない区間については、より正確な事業費を把握するとともに、事業化後、速やかな工事進捗を図るため、現地状況を踏まえた必要な調査や調整などを行う。

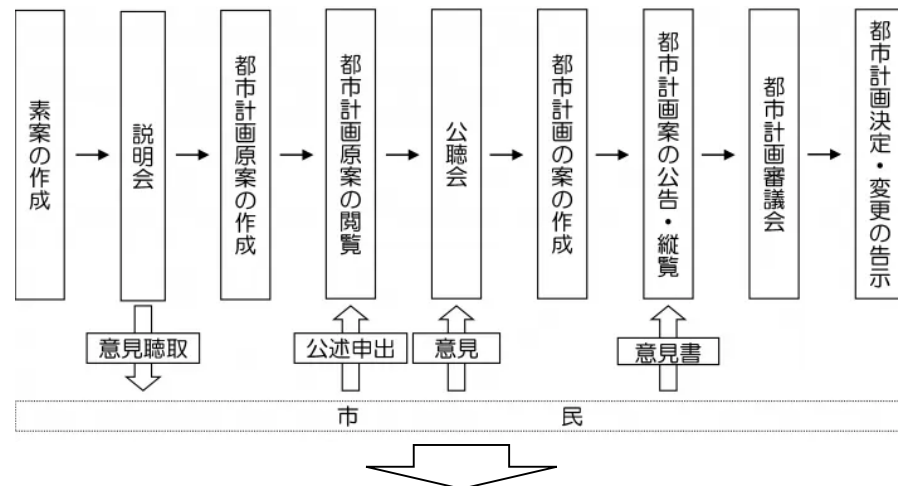
<主な実施内容(例)>

【工法検討】



工法検討に必要な地質調査(弾性波探査等)や詳細なトンネル設計などを実施

【都市計画変更手続き】



関係機関と手続きに向けて調整・実施